

まちの“縁”のはぐくみ方 ーもくじー

0 まちの“縁”のはぐくみ方とは	2
1 創成イーストとは	3
2 個性的な取組	4
3 創成イーストの成り立ち	5
4 なぜ今、『まちの“縁”のはぐくみ方』を考えるのか	6

まちの未来像

起草メンバーが一年間話し合ってきた「まちのありたい姿」を提案します

1-1 創成イーストのありたい姿=未来像	9
1-2 創成イーストが縁側になるために	11

これから皆さんと考えていきたいこと

『まちの“縁”のはぐくみ方』がまちのみなさんにとって大切な羅針盤として完成するために、2024年度に必要なことをまとめました

2-1 創成イーストが魅力的になるためにこれから必要なこと	16
2-2 ロードマップ	24

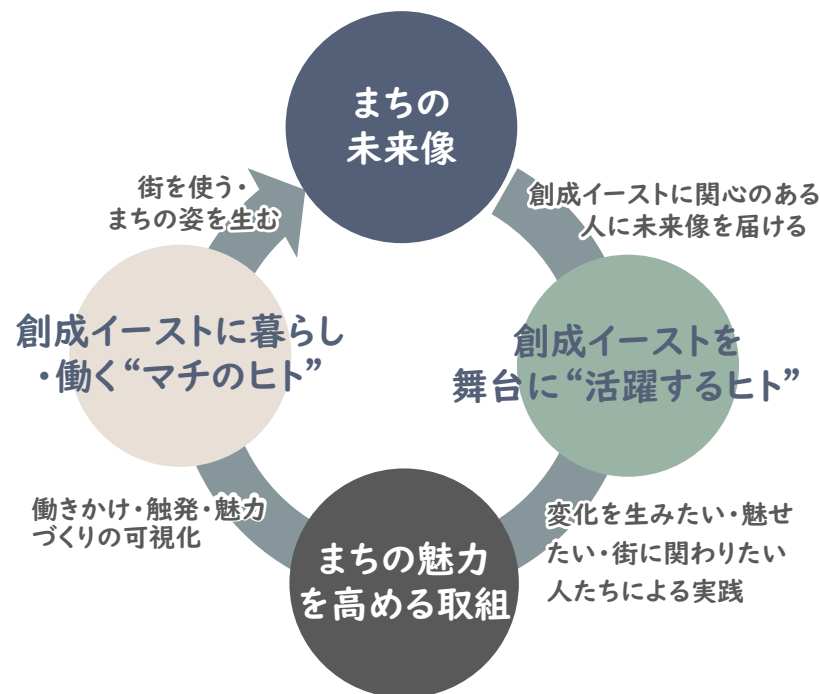
0 【まちの縁のはぐくみ方】とは

皆さんと共有する、“まちの未来像”です

札幌都心を流れる創成川の東のまち「創成イースト」は、商業・業務の中心地に隣接しながら、暮らしとなりわいのある日常の姿、開拓の名残や昔ながらの下町的な佇まいを今にのこす固有の魅力を持つまちです。

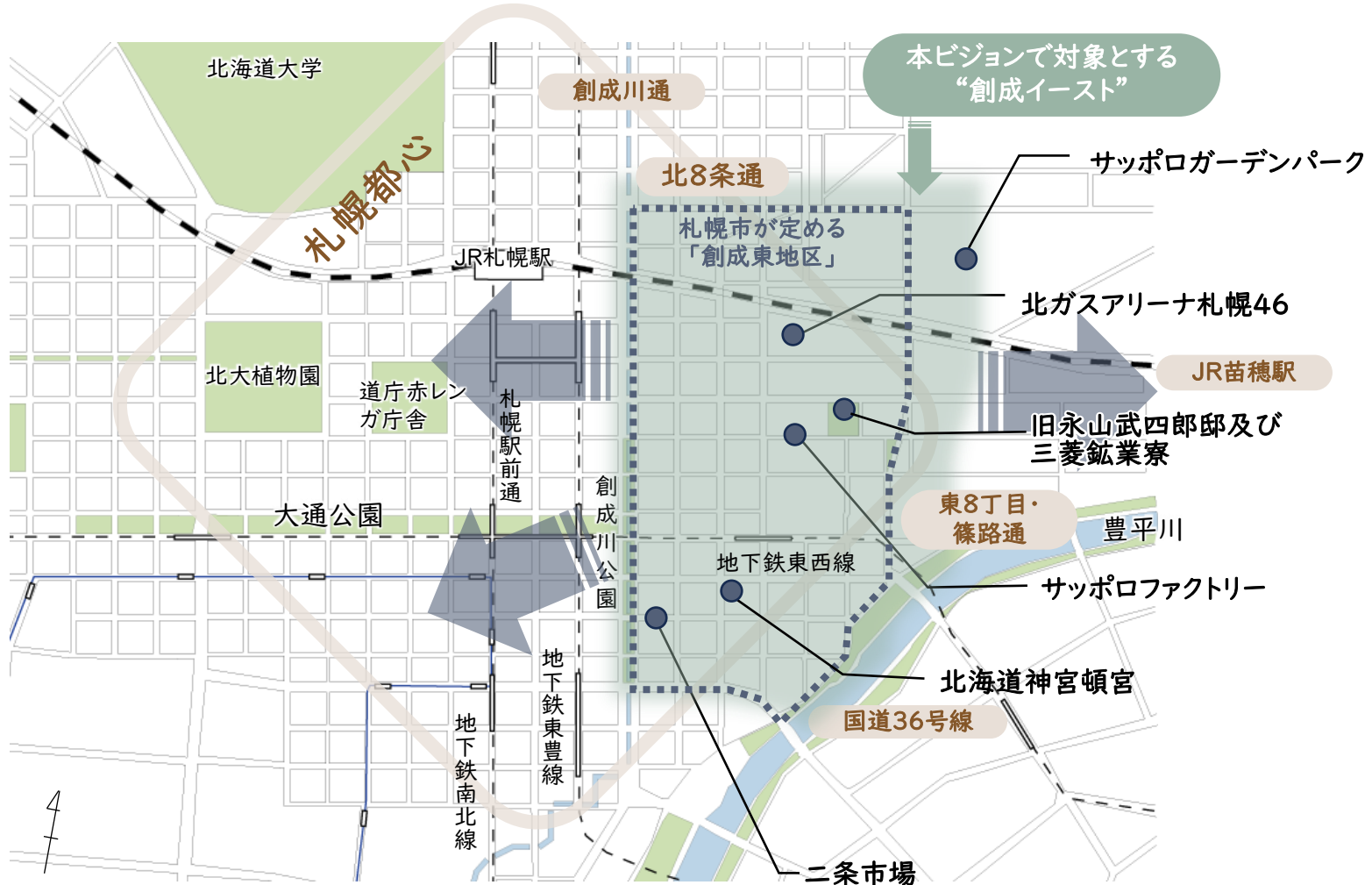
まちが絶えず変化・成長を続ける中、その個性を守りながら、魅力的なまちであり続けるためには、住民、企業・事業者をはじめとした、まちに関わる様々な“ヒト”が、創成イーストの価値を共有し、まちを自らの日常の一部として使いこなし、愛着の持てる身近な居場所としていくことが重要です。

このビジョンは、「創成イーストを舞台に活躍する人」たちにより、創成イーストをより魅力的にしていく様々な取組を実践し、「創成イーストに暮らし・働くすべての人」がこのまちで自分らしい、幸福な時を刻んでいけるよう、皆さんと共有する未来像です。



1 創成イーストとは

- ◆ここで考える“創成イースト”とは、札幌都心東部の創成川より東側のまちを指します。
- ◆かつては官営工場が立地する工業地帯でしたが、現在はオフィス・マンション・商業施設など多様な土地利用が行われているまちです。
- ◆老舗企業だけでなく、スタートアップ企業や個性的な飲食店が点在しています。
- ◆札幌の発展を支えた歴史のあるまちで、旧永山邸、ビール工場跡地、頓宮などの歴史的資源も現存しています。
- ◆創成川以西の業務・商業エリアや苗穂地区と隣接することから、このまちから始まるまちづくりを通じて、こうした隣接エリアとのつながり、連携を高め、まちをより魅力的にしていける可能性を秘めたまちです。



2 個性的な取組

コネクティッドスペースEZOHUB SAPPORO (サツドラHD(株))



創成East JAZZ (北海道ガス/R3~)



図エラボ (株) シェアデザイン/H25~)



さっぽろで1番あたたかいハロウィン (NPO 法人E-LINK/R1~)



さっぽろ下町マルシェ (一社) さっぽろ下町づくり社/H27~)



北海道神宮頓宮例祭 (秋まつり)



令和創成東縁日 (南二条通PM実行委員会+東地区連合町内会/R1)



ピクニックマルシェ (株)コスモスイニシア/R4~)



ひかりの森 (創成東開拓使通プロジェクト/H26~28)



創成東雪あかり (一社) さっぽろ下町づくり社/R2~)



実証実験「創成東まちのリビング」 (札幌市/H30、31)



児童の見守り・清掃活動 (サッポロ不動産開発(株)/R3~)



創成イーストピクニック (札幌市/H31@あそび公園)



寺子屋PJ「おちゃのま」 (NPO法人E-LINK/R2~@北海寺)

3 創成イーストの成り立ち

絶えず「最大活用されてきた」まち

【明治】

札幌神社遷拝所建立
(現・北海道神宮頓宮)
(明治11年)

官営工場の払下げが
始まる
(明治19年)

【大正】

市政施行
(大正11年)

【昭和】

創成川から東8丁目までの
工業地指定を解除
(昭和17年)

札幌開拓期

一次産業の基盤を担う農業振興＋
二次産業のパイオニア企業の育成



大日本麦酒札幌工場 (現: サッポロファクトリー)

民間参入期

北海道瓦斯、JR北海道、雪印等
の現存する企業の参入



北海道製酪販売組合 (現: 雪印乳業)

休眠期

工業系土地利用の郊外化
＋土地利用更新・開発の停滞
＋交通基盤の変化
(路面電車から地下鉄)



市電苗穂線

札幌オリンピック開催
(昭和47年)

永山武四郎邸の一般公開開始
(昭和60年)

【平成】

サッポロファクトリー
開業(平成5年)

「創成イースト」の
呼称が広がり始める
(平成18年頃)

「都心まちづくり(都心まちづく
り戦略)重点地区」への指定
(平成24年)

「一社」下町づくり社
設立(平成29年)

【令和】

「北ガスアリーナ札幌4」
開業(平成31年)

新型コロナウイルスの
感染拡大(令和2年頃)

東4丁目通の工事が着工
(令和5年)

創成クロス、道新本社の完成
(令和6年予定)

北6東2再開発事業が完成
(令和7年予定)

北海道新幹線札幌駅が開業
(令和12年予定)

転換期

急激なマンション立地と人口流入
個性的な中小事業者の流入
(一社)下町づくり社の設立



個性的なお店が並ぶM'sEAST



エリアマネジメントによるマルシェの開催

発展期

新幹線札幌駅東改札口の整備
東4丁目通の整備
民間開発の活発化



新幹線札幌駅のイメージ図

4 なぜ今、『まちの“縁”のはぐくみ方』を考えるのか

便利な場にはなっていくけれど、“まち”への愛着はあるだろうか？

変化・成長をつづける創成イースト

居住者・ビジネスパーソン
の増加
スタートアップ企業の立地

まちのヒトが日常的に感じる課題感

- ・人のつながり
- ・安全・安心
- ・自分らしく過ごせる居場所
- ・街の情報の受信、想いの発信

バラバラなまちではなく、“個性”や“存在感”を発揮していくにはどうしたら良いだろうか？

創成イーストを
いまよりもっと
魅力的なまちへ！

ありたい姿と
大事にしたいことの
共有

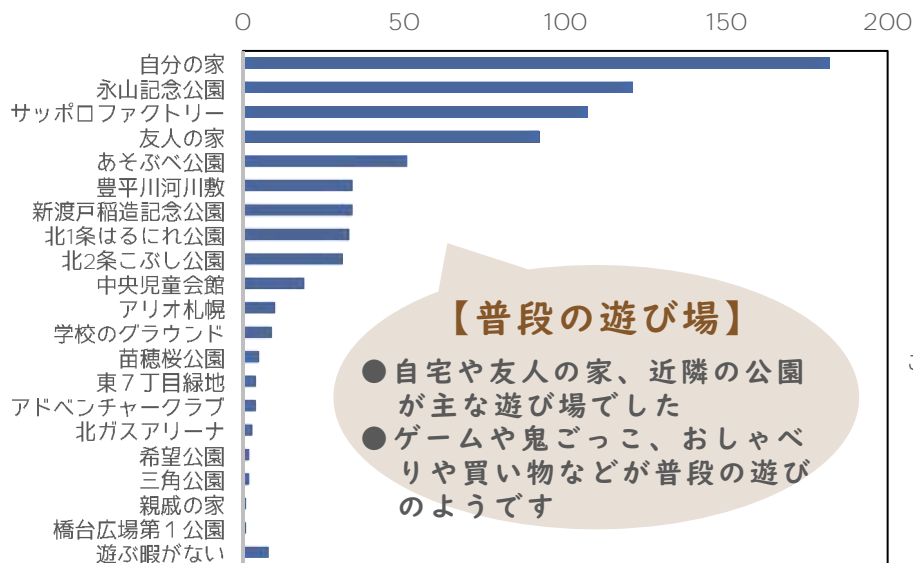
もしこのまま
なにもしなければ…

まちとヒトのつながりが希薄な無機質な街へ…

- まちのヒトの孤立化の促進
- First・Secondプレイスしかないライフスタイル
- 情報・安全・安心への不安の増進
- まちの宝の喪失
- “選ばれない”まちへ
- 街に無縁で波及効果のない開発の展開

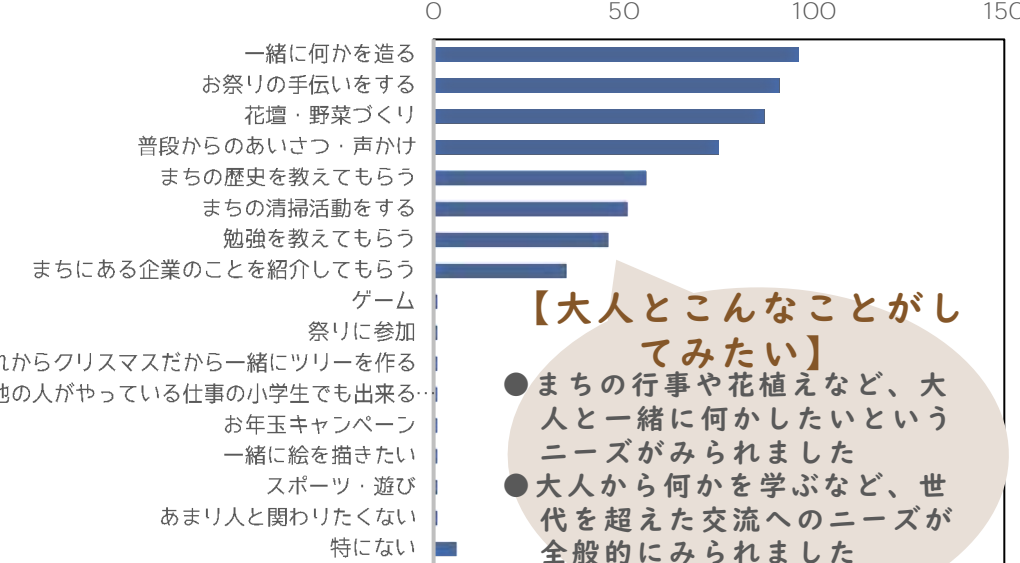
【コラム】子どもたちの目線で見えた“創成イースト”

『「創成イーストってどんなまち」アンケート調査』2023.12.12～15実施、札幌市立中央小学校児童(4年生～6年生)を対象とするアンケート結果より



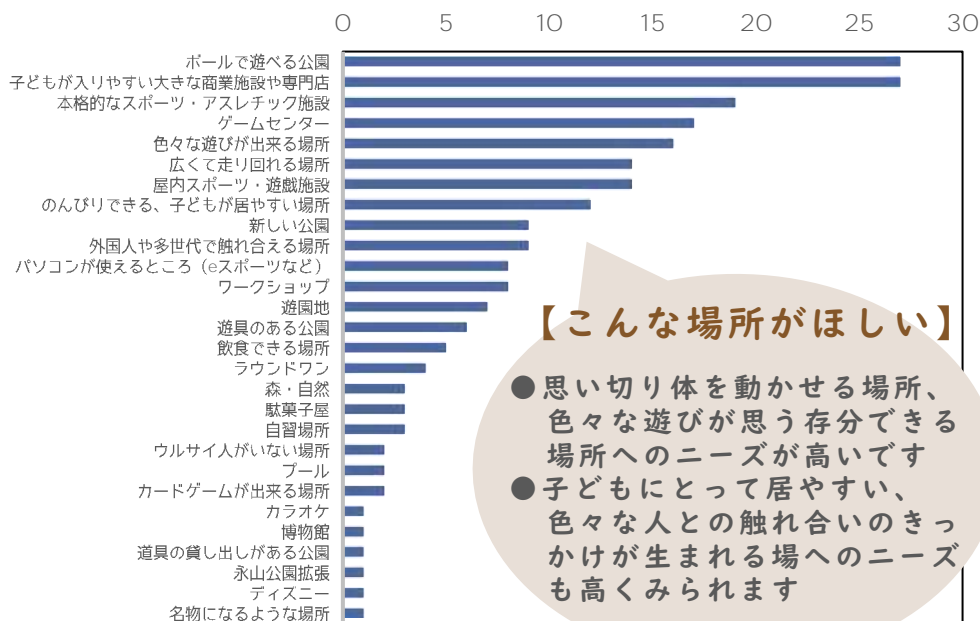
【普段の遊び場】

- 自宅や友人の家、近隣の公園が主な遊び場でした
- ゲームや鬼ごっこ、おしゃべりや買い物などが普段の遊びのようです



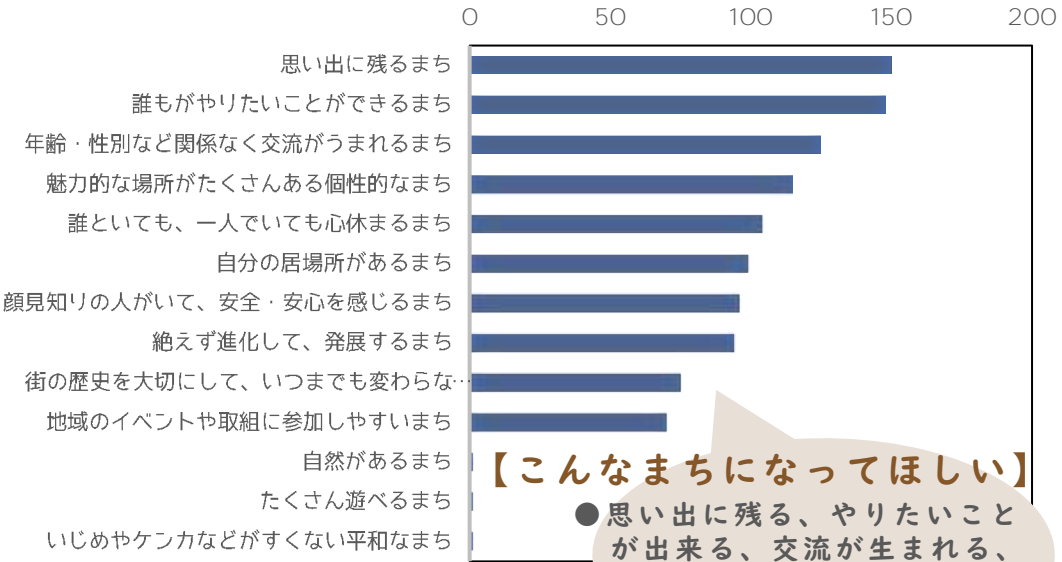
【大人とこんなことがしてみたい】

- まちの行事や花植えなど、大人と一緒に何かしたいというニーズがみられました
- 大人から何かを学ぶなど、世代を超えた交流へのニーズが全般的にみられました



【こんな場所がほしい】

- 思い切り体を動かせる場所、色々な遊びが思う存分できる場所へのニーズが高いです
- 子どもにとって居やすい、色々な人との触れ合いのきっかけが生まれる場へのニーズも高くみられます



【こんなまちになってほしい】

- 思い出に残る、やりたいことが出来る、交流が生まれる、安心感があるなど、イーストならではの経験ができる様々な側面が重視されました

【まちの未来像】

このまちの未来像=ありたい姿と、
そのために大事にしたいことをまとめました。

札幌の縁側

創成イースト

～ひとりでも、自分らしい時を刻み、
だれとでも“ご縁”を育めるまち～

縁側は、日本建築独特の“内と外の境界を曖昧”にした
“開かれた場所”です。

北海道ではあまりなじみがありませんが、一人でひなたぼっこをしたり、家族の団らんが垣間見えたり、ご近所のみなさんが集う“居心地のいい空間”、そんなどこか昔懐かしい風景は連想できるのではないのでしょうか。

創成イーストというまちも、
愛着の持てる身近な居場所になり、
“ご縁”が側にある、あたたかいまちでありたい。
縁側のような“原風景”として語られるまちを目指します。



—このまちが目指す“札幌の縁側”とは—

- ◆ 創成イーストが生み出したい“縁側”とは、次の4つのイメージを備えることだと考えました。
- ◆ そのようなまちであるために、その下に必要な取組の例を示します。
- ◆ このような取組がたくさんまちに生まれると、“縁側”のように原風景として心に残り、愛されるまちになっていくと考えます。

“縁側”から 連想するイメージ

居心地の
いい空間

古き良き
あたたかさ
安心感

みんなで
共有できる
原風景

人の顔や
活動が見える

創成イーストが“縁側”になるための 4つの要素

自分らしくいられるまち

変わらない・心休まるまち

過ごした記憶を育めるまち

ヒトの顔・想いがつながるまち

“縁側”の実現に向けた8つの取組例



誰かにとって居心地のいい場所を育む



居場所がなければ自分で創る



安心感がにじみ出る街なかを育む



創成イースト/下町の佇まいを守る



このまちでしか出来ない体験を生む



訪れた人がこの街を好きになれる



大人と子どもが体験を共有する



自分の思いからまちを変える

自分らしくいられるまちを育む

「誰かとつながりたい」「自分の時間を過ごしたい」、まちに暮らし、働き、訪れる人の多様な価値観を受け止め、それぞれが望むありのままの自分で過ごせる、敷居の低い場所づくりを目指します



1 誰かにとって居心地のいい場所を育む

誰かにとって居心地のいい場所を育む

～家、職場/学校以外の、自分の時間を
過ごせる場所があったらいいな!～

たとえば

- ▶好きな仲間と楽しめる・時間を共有できる場をつくる
- ▶家の外に1人だけの時間を過ごせる場所を見つける・つくる



2 居場所がなければ自分で創る

居場所がなければ自分で創る

～自分が居心地のいい居場所がほしい!～

たとえば

- ▶街に眠る「もったいない」場所を作り替えてみる
- ▶街なかのちょっとした隙間に居場所を持ち込んでみる



変わらない・心休まる場所を育む

まちが移ろいでいく中でも、そこに行けばいつもと変わらない時間を過ごせる、また常に人の気配を感じ、安心して過ごせる、“縁”を育める場所づくりを目指します



安心感がにじみ出る街なかを育む

～安心や懐かしさを感じさせる街並みの
一体感があるといいな！～

たとえば

- ▶連続したオーニング（日よけ・庇）など、軒先に憩いの空間が連なる街並みをつくる
- ▶屋内の明かりや賑わいが外に漏れている、建物の外と中が繋がって、人の気配が感じられる安心な街並みをつくる



創成イースト/下町の佇まいを守る

～マチとヒトのつながりを感じる場を大切に
にしたい！～

たとえば

- ▶歴史・文化の残り香を感じるまちの佇まいやいとなみを守り・次代につなげる
- ▶この街ならではのヒトの顔がみえる個店を身近な居場所にした



マチで過ごした記憶を育む

そこで誰かと時間・体験を共有した思い出、自分らしい時を過ごした思い出を刻む、それぞれがやりたいことを達成した経験が、原風景となる記憶を生む場所づくりを目指します

5 このマチでしか出来ない体験を生む



このマチでしか出来ない体験を生む

～街なかのふとしたところに遊び場があるといいな！～

たとえば

- ▶ 普段の道路がみんなの遊び場、憩いの場になる
- ▶ 公園をキャンプ場みたいに試してみる



6 訪れた人がこの街を好きになれる



訪れた人がこの街を好きになれる

～見るもの触れるものが感動を与える、歩きたくなるまちにしたい！～

たとえば

- ▶ このまちで自慢できる四季折々の風景をつくる
- ▶ 来街者と交流し、非日常の佇まいに感動する催しをつくる



ヒトの顔・想いをつなぐ

まちで暮らす人・働く人のつながりを生むきっかけとなる、「中と外」のへだたりを感じさせない、人をもてなし、思いやるつながり・一体感のあるまちなかづくりを目指します



大人と子どもが体験を共有する

～見知った大人が街なかにいる安心感があるといいな！～

たとえば

- ▶ まちの企業による社会学習・体験の機会をつくる
- ▶ お祭りなど、伝統からまちの文化を学び、世代を超えたつながりを育む



自分の想いからまちを変える

～まちで過ごす中での困りごと、自分の感動や自慢を伝えたい！～

たとえば

- ▶ ふとした困りごとや感動をつぶやける、誰かと共有する仕組みをつくる
- ▶ 「創成イーストはこんなまち」を共有



【これから皆さんと 考えていききたいこと】

【まちの“縁”のはぐくみ方】は完成に向けてはまだ、道半ばです。

創成イーストがもっと魅力的になるための方向感までは考えることができました。

ここからは、このスローガンに共感してくださる皆さんと一緒に【まちの“縁”のはぐくみ方】を創り上げていく上で一緒に考えたいことをご提案します。

① まちのヒト・モノ・コトがつながる関係を作ること

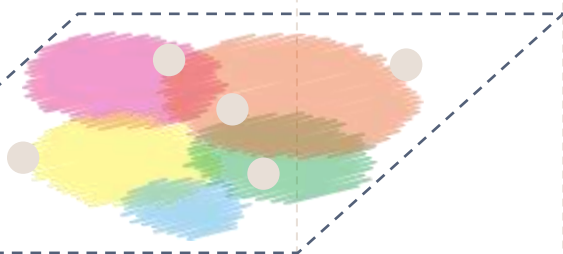
これから
目指すこと



3 個々の活動を繋ぎまちの魅力を高める取組

- ▶ まちのありたい姿を広く周知し、皆さんと【共感・共有】する場、機会が必要です。
- ▶ これまで培ってきた活動、このまちの大切にしたい宝などの情報を【発信】し、まちへの愛着を高めるとともに、地域の声を【受信】し、やるべきことを考えることが必要です。
- ▶ まちの魅力を高める活動が孤立しないよう、【応援・支援】することが必要です。

今までも
取り組んで
きたこと



2 地域の資源を活かした個性的な取組

- ▶ 町内会による自治活動
- ▶ NPOによる子育て活動
- ▶ 企業によるCSR活動
- ▶ まちづくり団体による街なかの資源活用

1 区域に点在する地域の資源

- ▶ 約140haの広大な敷地
- ▶ 北海道神宮頓宮、二条市場、旧永山武四郎邸などのまちの成り立ちに関わる資源
- ▶ まちの更新・開発を通じて生み出される新しい街の魅力・活力を生み出す一助となる資源

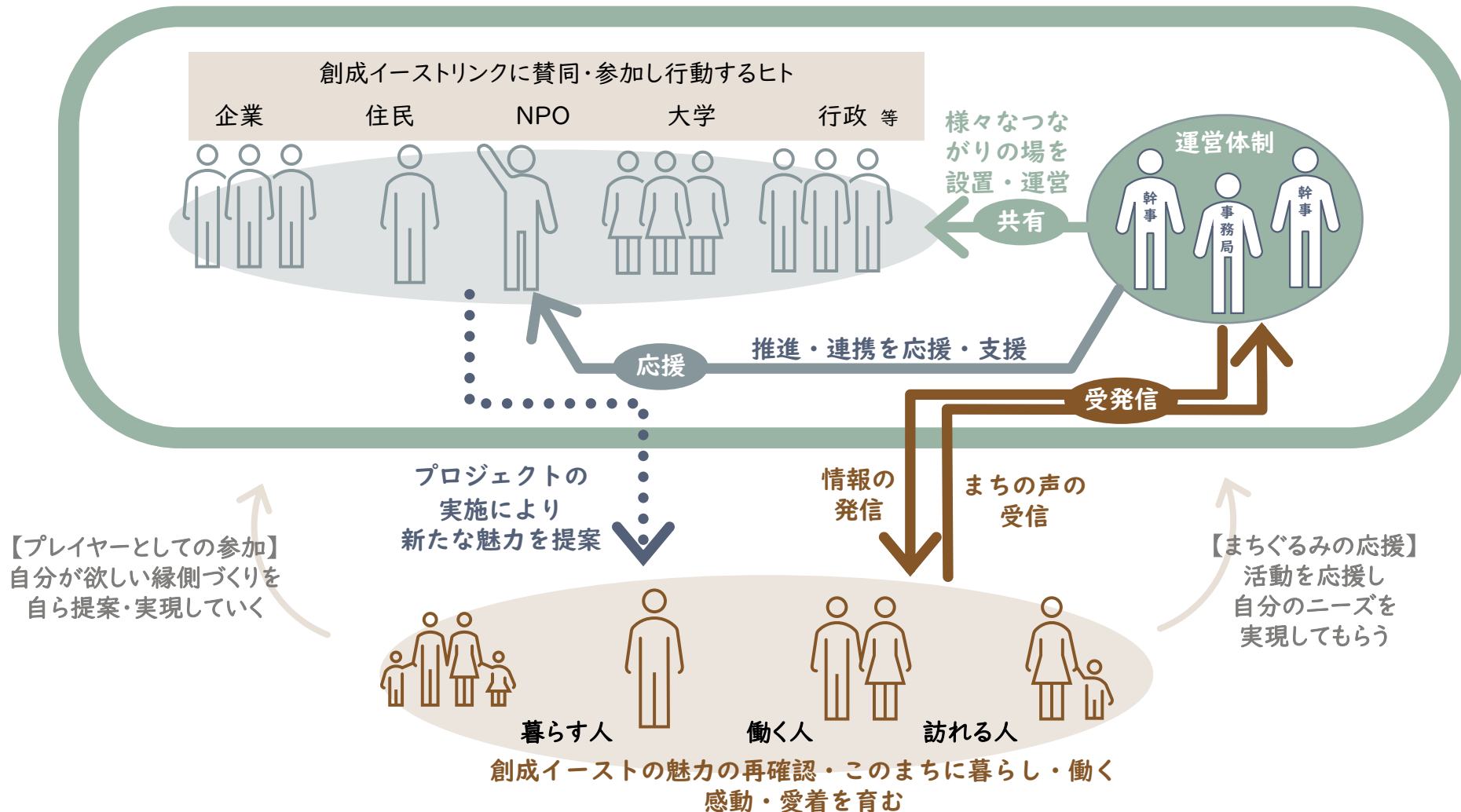
創成イースト

まちがつながる仕組み

“創成イーストリンク” を創りましょう

- ◆ 創成イーストを舞台に活動する企業・住民があつまり、主体の垣根を越えて、みんなが望むまちを実現する場=（仮）創成イーストリンクを立ち上げます。
- ◆ （仮）創成イーストリンクではそれぞれの活動や人を緩やかにつなぐため、創成イーストがまちとして目指す姿の策定・共有や、つながりづくりのための様々な機会を提供します。

（仮）創成イーストリンク



イーストリンクの取組の基本的な考え方

◆ 縁を育む、まちが縁側になる動きを生み出す上で、次の4つの姿勢を持つことが大切であり、これらを具体化する仕組みづくりが必要だと考えています。

自分らしくいられるまちにします

まちに暮らす人、働く人、訪れる人等、多様なヒトのカラーが街の魅力を生み出しています。人と人のつながりが生み出す化学反応をまちのパワーに変えて、様々な色が輝くまちづくりを進めます



“やりたいこと”を応援します

創成イーストの魅力は、その歴史的な背景を含め、常に新しい風を受け入れる街の風土にあります。街の魅力を高める取り組みや、街を舞台に“やりたいこと”がある人を応援します。



まちの“変わらない良さ”を大切にします

まちづくりは、変化を求めるだけでなく、今あるものの価値を見つめなおし高めていくことが大切です。まちの固有のたたずまいを生み出す、ヒト・モノ・コトを大切にし、高めていきます。

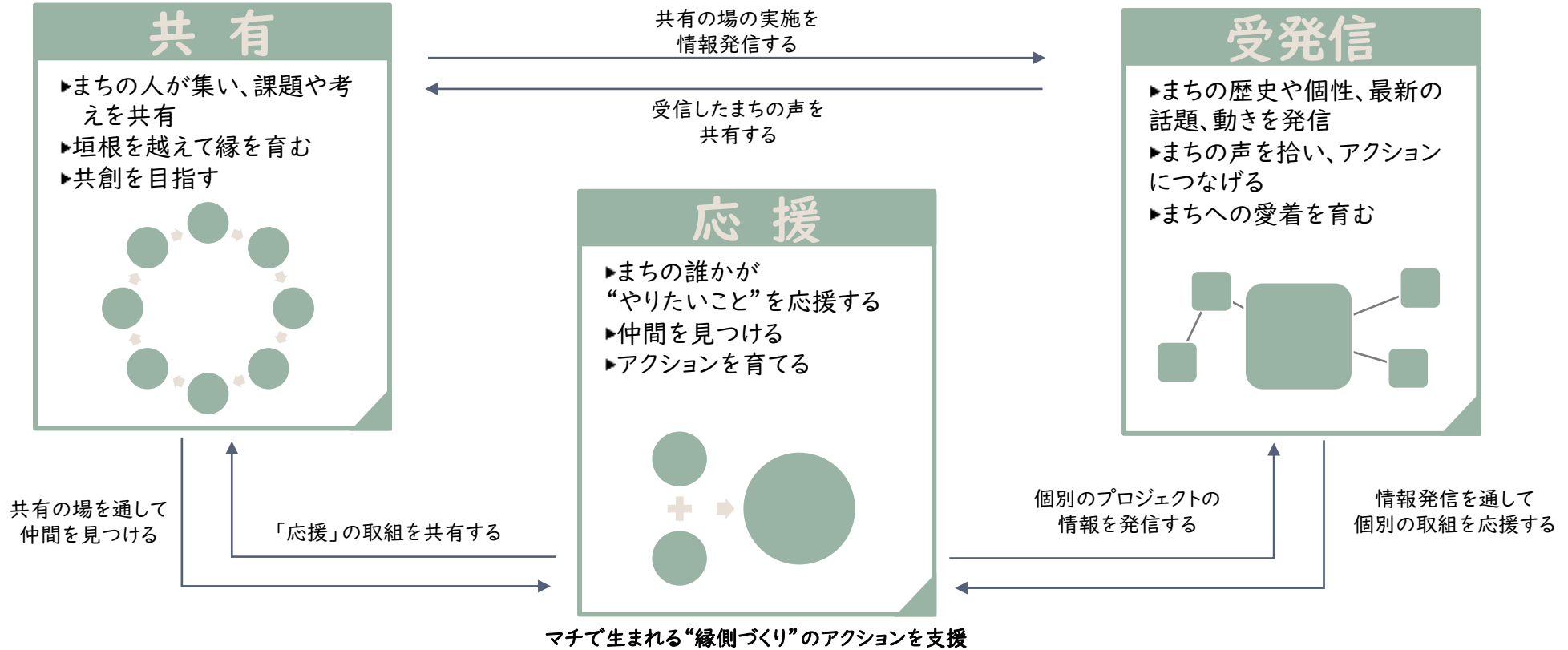


まちのヒトの顔・想いを届けます

まちはそこで暮らし、働き、活動する人たちの集合体です。まちづくりの原点はこうした人たちの想いを実現することです。まちで活躍する人の顔や想いが見えることで、皆さんの困りごとや願いを実現する可能性を高めます。



② “ご縁”をはぐくむために 「共有」「受発信」「応援」の仕組みを作ること



例えば

アクション

- ▶ アクションを起こしたい人が実施。プラットフォームはその動きに係る「共有」「情報」「応援」により側方支援。
- ▶ イースト全体で取り組むべきことができたときはプラットフォームが主導



使われなくなった建物を地域の力でセルフリノベーション



沿道の連携でまち灯りを強化し、安全安心な道づくり



みんなのつぶやきを書き込めるコミュニケーションボードを設置

【共有】 様々な共有・交流の場を提供

1 まちづくりコア会議

- ◆ まちの住民・企業・活動団体の共有の場
- ◆ まちの住民（町内会）、企業・事業者、様々な活動団体、行政などが、創成イーストの動きや課題を共有する場です。
- ◆ 今後の取組の可能性を議論し、方向感を共有することで連携・役割分担の在り方を明確にします。



2 創成イーストイノベーション部会

- ◆ まちの企業の情報共有・連帯感を育む場
- ◆ 企業・事業者同士の情報交換から、交流を育み、つながりを深める場です。
- ◆ 企業連携による新しいまちづくりの可能性を探ります。



3 創成イーストまちづくりのつどい

- ◆ 誰でも参加できる、イーストまちづくりを語る場
- ◆ 創成イーストが好き、この街で何か出来ないか…と考える地区内外の誰もが参加し、つながりを作る場です。
- ◆ “このまちでやりたいこと”への共感を得て、実践に向けた新しい仲間の“ご縁”を育みます。



【受発信】①情報の集約と発信

街の情報を集めて、
みなさんにお届けします

まちの“今”を届ける

- ◆創成イーストまちづくりの“今”を届ける
- ◆様々な情報発信媒体がある中、まちに散らばる情報を集約し、発信するとともに、蓄積することでまちの記憶を皆さんと共有することが出来ます。

まちを知る・学ぶ

- ◆まちに埋もれている人の発掘と発信
- ◆まちの歴史の紹介によるシビックプライドの醸成

まちの将来像を広く共有

- ◆今回作成したビジョン(まちの将来像)を広く地区の皆さんに周知し、共有していただくことが重要です。
- ◆今後の創成イーストまちづくりの手引きとして広く皆さんに周知していただくための情報発信を進めます。



【受発信】②まちの声の受信

まちの声から新たな“ご縁”
を生み、好循環を生みます

発信だけではなく、
“受信”も大切に

- ◆住民、企業・事業者等、まちの人のニーズをまち全体で実現していく、行動に移していくために、“想い”を受け止め、集約する媒体づくりを進め、運用します。
- ◆アンケートや目安箱等を用いて、定常的にまちの声を集める取り組みを進めます。

対話の場・機会を継続的に
に設ける

- ◆まちの人の意見を聞く、対話を通じて、新たな“ご縁”を育むための場の設置し、継続的に運営します。

【応援】①まち固有の ヒト・モノ・コトを育む ～創成イーストパワーオブテン

- ◆創成イーストには、まちの宝となる魅力的な「ヒト」「モノ」「コト」が点在しています。
- ◆創成イーストは広大なエリアですが、これらの宝を中心とした10の特徴的なカラーを見出せると考えています。
- ◆創成イーストリンクはこうしたそれぞれの場で生まれる「ヒト」「モノ」「コト」との連携を進めることで、まちの縁側を育み魅力を高めていきます。

【応援】②だれかの「やりたい」 を行動に移せる仕組み

- ◆創成イーストで「自分なりに縁側を作りたい」という想いを、実現する上で【ヒト・モノ・カネ】は入り口での課題となります。
- ◆既に自らの想いをまちの力を得て実現した取り組みもみられる中、誰もがこのまちでチャンスを見出せる、「自分もやってみたい」という想いをまちぐるみで後押しする仕組みを備えるべく、研究してみてもみませんか。



③まちの動きに合わせたチャレンジをすること

(仮称) 東4丁目通／いとなみの軸 つかいまくりプロジェクト

- ◆創成イーストの中心軸、東4丁目通の道路改良がR6一部開通（大通～あそぶべ公園間）します。
- ◆まちの中心的な縁側として、通りに賑わい・憩いをもたらし、道路空間を最大限活用してみましょう
- ◆例えば…
 - ・路側帯にキッチンカーやチャレンジショップを設置する、道路を止めることなく歩いて楽しい空間に。
 - ・昼はベンチで憩いの空間、夜はストリートバルなど、時間によって違う顔を見せる創成イーストラしい縁側づくり。
 - ・あそぶべ公園では映画祭を開催。
- ◆R6以降順次開通する東4丁目通の新しい道路空間で、プロジェクトの規模も順次拡大して、一大縁側づくり！



(仮称) 創成イースト 一大拠点づくりプロジェクト

- ◆街なかの建物を創成イーストのコミュニティの結節点、観光、情報発信の拠点となる縁側を作りませんか。(期間限定でも)
- ◆まちぐるみの応援の仕組みや公的な支援などを得ながら、みんなの居場所をみんなで創りましょう。
- ◆大人から子どもまで、まちのみんなの力を集めたセルフリノベーションによって、自らが創り上げた、愛着と思い出のある場づくりを実践しましょう。
- ◆作るだけでなく、末永く場を維持し、地域の居場所を守り続けていくためには、場の活用を通じて「稼ぐまちづくり」の方策を生み出すことも重要です。



2-2 ロードマップ

- ◆ コアメンバーから新しいまちづくりの体制をスタートし、街の皆さんに加わっていただきながら、創成イーストがもっと魅力的になるために必要な取組や仕組みについて来年度検討を進め、この『まちの“縁”のはぐくみ方』を完成させましょう。
- ◆ 検討と並行して、まずできること、皆さんの共感を獲得するために色々なアクションに挑戦して、まちに対する愛着や縁側づくりの可能性を体感しましょう。

	2023/R5	2024/R6	2025~
「共有」プロジェクト	共有の場の実施	コア会議・イノベ部会・つどいの運営（賛同者の増強・検討の加速）	
「受発信」プロジェクト	まちづくり通信 定常的情報発信媒体の検討	発信媒体の検討 WEBサイトの検討・試行 紙媒体等の発信手段の試行 発信手段の構築	WEBサイト運営 まちづくり通信の定期的な発行
「応援」プロジェクト		パワーオブテンによる個々のアクションの推進・連携の促進 応援の仕組みの研究	応援の仕組みの実装化・運用
リーディングプロジェクト	関係主体によるプロジェクト化の検討	東4企画・検討 拠点づくりプロジェクトの検討・推進	開通区間における実証・検証 拠点の運営・プログラム定常化
まちの動き		・創成クロスオープン ・道新本社オープン	・東4丁目一部開通 ・北6東2・3地区開発の竣工、都市公園オープン

創成イーストリンクのスタート

創成イーストリンクの強化・仕組みの実装化

まちの“縁”のはぐくみ方の取りまとめ

まちの“縁”のはぐくみ方～創成イーストがもっと魅力的なまちになるために～（案）

発行 / 令和6年（2024年）3月時点

編集 / （仮）創成イーストリンク

[起草メンバー]

サッポロ不動産開発(株)、(株)北海道新聞社、ものかたり(株)、NPO法人) エコモサッポロ、NPO法人) E-LINK、一社) さっぽろ下町づくり社